

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-310459(P2003-310459A)
【公開日】平成15年11月5日(2003.11.5)
【出願番号】特願2002-156476(P2002-156476)
【国際特許分類第7版】

A 4 7 K 3/00

A 6 1 H 33/10

【F I】

A 4 7 K 3/00 B

A 6 1 H 33/10 M

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月19日(2005.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一辺が浴槽内壁上端部における横幅の長さを有すると共に浴槽上端に保持可能であり、その対辺の中ほどに首挿入口を有し、該対辺と他の残り二辺の形状が浴槽上端より下位置の浴槽内壁面にほぼ沿った形をなし、これら三辺が浴槽内壁面に接して浴槽内に入れ込み可能な構造であることを特徴とする風呂ふた。

【請求項2】

浴槽上端に保持可能な辺とその対辺を除く、前記二辺のうち少なくとも一つの辺が伸縮可能であり、少しの力を加えることで該二辺と前記対辺の三辺が浴槽内壁面に接して浴槽内に入れ込み可能な構造であることを特徴とする請求項1記載の風呂ふた。

【請求項3】

浴槽上端に保持可能な前記一辺に、長さを伸縮できる支持軸を有することを特徴とする請求項1又は2記載の風呂ふた。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項3の風呂ふたは、浴槽上端に保持可能な前記一辺に、長さを伸縮できる支持軸を有することを特徴とする。これにより、支持軸長を浴槽に合わせて最適に調整し、美観と使用感を損なわず、一種類の風呂ふたで複数の横幅長の浴槽に使うことが出来る。